未来の札幌を見つめる【環境】

【環境】キャラクター「ちっきゅん」

札幌らしい特色ある学校教育

札幌市白石区エコスクール宣言校

「しろっぴー」＆「くろっぴー」
白石区マスコットキャラクター　©SHIROISHI WARD SAPPORO

札幌市立白石中学校

「さっぽろっこ環境ウイーク」におけるエコアクションの取組

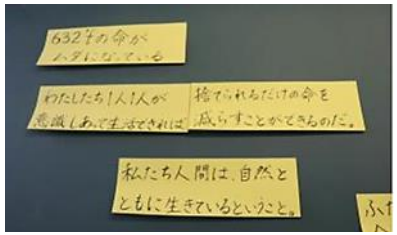
エコアクション活動名　「環境について考え、行動しよう！」

実施日時　令和2年6月 29 日（月）～7月 10 日（金）を中心に実施

取組内容

知る エネルギーや環境に関する教科学習

エコアクションは、日常の授業から始まる。理科、社会科、技術・家庭科、道徳科などの授業を通して、環境に配慮した生活やエネルギーの視点から食生活、衣生活、住生活を見直すことを大切にしている。エネルギーや環境に関する内容は、どの教科の学習内容にも含まれており、それらを関連させたカリキュラムを組むことによって、学びが有機的に結びついた授業を展開することができ、総合的に環境問題などについて考えを深められるようになる。



国語の授業での掲示物

考える 環境やエネルギーについて考える場の提供

授業だけではなく、図書館に環境やエネルギーに関する図書コーナーを設置し、生徒が興味を抱いた内容について、自ら知ることができる場を提供している。エコアクションは、授業などをはじめとして、現実を知ることから行動する動機付けが生まれるため、このような場を大切にしている。

図書館の環境コーナー

行動する 保健常任委員会主催の外清掃活動　等

エコアクションは行動化につながる部分が大事である。実際に清掃活動をすることを通して生じた気付きを大切にしている。※今年度はコロナ禍のため、実施を延期している。

特色ある取組

■エネルギー教育シニアモデル校

本校は北海道の中学校で唯一、経済産業省資源エネルギー庁から認定された「エネルギー教育シニアモデル校」である。平成 26～28 年度までは「エネルギー教育モデル校」として教育実践を行い、エネルギー教育モデル校交流会や日本エネルギー環境教育学会など、全国の場で実践発表を行ってきた。そのような取組が認められ、電気新聞主催のエネルギー教育賞では、2016 年度に中学校部門で全国最優秀校、2015 年度と 2017 年度には、全国優秀校に選ばれた。現在は「エネルギー教育シニアモデル校」として、理科、社会科、技術・家庭科を中心に、引き続き、エネルギー教育を推進している。持続可能な社会を実現するために必要な資質・能力を育むための教育活動を展開している。